

# 事業報告書

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

公益財団法人古川知足会

## 目次

### 【1. 事業の概要】

#### (1) 公益目的事業について

##### 事業番号 公1

#### I. 美術作品等の展示事業

##### i) 美術品、芸術作品等の展示

展覧会入場者数	4
古川美術館 公益財団法人古川知足会財団設立30周年記念展	
「田村能里子一風を聴く旅一」	7
分館爲三郎記念館 「田村能里子一風を聴く旅一」	7
古川美術館 公益財団法人古川知足会財団設立30周年記念展	
「山本眞輔 彫刻60周年の軌跡」	8
分館爲三郎記念館 「山本澄江の世界一祈りの道」	8
古川美術館 公益財団法人古川知足会財団設立30周年記念展	
「逸品セレクション 前期一爲三郎の夢」	9
分館爲三郎記念館 「逸品セレクション 前期一爲三郎の夢～工芸編」	9
古川美術館 公益財団法人古川知足会財団設立30周年記念展	
「逸品セレクション 後期一継ぐ 過去から未来へ」	10
分館爲三郎記念館 「逸品セレクション 後期一継ぐ 過去から未来へ～工芸編」	10
古川美術館 公益財団法人古川知足会財団設立30周年記念展	
「藤森兼明 人を魅せる技」	11
分館爲三郎記念館 「内田邦太郎 パート・ド・ベール ガラス展」	11
古川美術館新春企画展「寿ぎの四季」	12
分館爲三郎記念館 「季節の設え」	12
分館爲三郎記念館特別企画	
「花人・河村敦子 洋画家・平田豊美 妹に捧ぐ命の花」	13
古川美術館「黒野清宇 遺墨展一かなの美」	
分館爲三郎記念館 「黒野清宇 遺墨展一かなの美」	14
ii) 美術品、芸術作品等の収集	15
iii) 所蔵作品の貸し出し、図録等への掲載	15
iv) 美術品、芸術作品等の適切な管理、保存	16
v) 収蔵する美術品、芸術作品等の調査研究	16

#### II. 美術、芸術に関する教育普及事業

i) 保育園の総合学習の受け入れ	17
ii) 中学生の総合学習の受け入れ	17
iii) 高校生の総合学習の受け入れ	17
iv) 大学生の授業の受け入れ	17
v) 専門学校生の授業の受け入れ	18
vi) 博物館実習生の受け入れ	18

vii) 教諭の10年経験者研修の受け入れ	18
viii) 出張講義	19
ix) 児童対象ワークショップの開催	21
x) ワークショップの開催	22
x i) 美術講座等の開催	23
x ii) アーティストトークの開催	24
x iii) トークショーの開催	24
x iv) ライブパフォーマンスの開催	24
x v) ギャラリートークの開催	25
III. 施設の貸与	26
IV. 展覧会関連事業	
i) 展覧会連携	27
ii) 古川美術館 財団設立30周年記念 檜舞台「緑風の宴」	27
iii) 茶席	28
iv) 美術ツアー	29
v) 内覧会	29
vi) その他の催し	29
V. パスポート会員	31
VI. 賛助会員	31
VII. 提携施設等	32

(2) 収益事業について

事業番号 収1	33
事業番号 収2	36
事業番号 収3	38

【2. 処務の概要】

I. 役員に関する事項	39
II. 職員に関する事項	40
III. 役員会等に関する事項	41
IV. 契約に関する事項	41
V. その他の重要事項	41

## 【1. 事業の概要】

### (1) 公益目的事業について

#### I. 美術作品等の展示事業

事業番号 公1

事業の内容 美術品、芸術作品等の収集、保存及び展示公開、美術芸術に関する教育普及活動や施設の貸与等を通じて、地域社会における文化及び芸術の振興に貢献する事業

定款上の根拠 定款上の根拠第4条第1項

#### i) 美術品、芸術作品等の展示

古川美術館では、2回の企画展と4回の特別展を開催しました。また、分館の爲三郎記念館も全会期開館し、6回の展覧会企画を開催し、皆様をお迎えしました。

#### 展覧会入場者数

展覧会名	会期	入場者数
公益財団法人古川知足会 財団設立30周年記念展 「田村能里子一風を聴く旅一」 分館爲三郎記念館 天井画「季の嵐」公開20th Anniversary 「田村能里子一風を聴く旅一」	平成29年4月1日(土)～ 平成29年5月14日(日)38日間 ※平成29年3月17日(金)内覧会1日間 全会期は平成29年3月18日(土) ～平成29年5月14日(日)50日間	古川美術館 3,931人 (103人/日)  爲三郎記念館 4,040人
分館爲三郎記念館 財団設立30周年記念展 檜舞台「緑風の宴」	平成29年5月18日(木)～ 平成29年5月24日(水)4日間 ※檜イベント全会期は平成29年5月 10日(水～平成29年6月4日(日) 14日間	爲三郎記念館 330人 (82人/日) (檜舞台イベント全 会期では958人)
公益財団法人古川知足会 財団設立30周年記念展 「山本眞輔 彫刻60年の軌跡」 分館爲三郎記念館 特別展 「山本澄江の世界—祈りの道」	平成29年5月26日(金)1日間(内覧会) ※会期は平成29年5月27日(土) ～平成29年7月23日(日)50日間 ※「山本澄江の世界」会期は 平成29年6月20日(火) ～平成29年7月23日(日)30日間	古川美術館 4,918人 (96人/日)  爲三郎記念館 4,970人

<p>公益財団法人古川知足会 財団設立30周年記念展 「逸品セレクション」 前期「爲三郎の夢」 後期「継ぐ 過去から未来へ」 分館爲三郎記念館 前期「爲三郎の夢」工芸編 後期「継ぐ 過去から未来へ」 工芸編</p>	<p>前期 平成29年8月5日(土)～ 平成29年9月10日(日)32日間 後期 平成29年9月16日(土)～ 平成29年10月9日(月・祝)21日間</p>	<p>古川美術館 5,266人 (99人/日)  爲三郎記念館 4,829人</p>
<p>公益財団法人古川知足会 財団設立30周年記念展 「藤森兼明一人を魅せる技」 分館爲三郎記念館 特別展 「内田邦太郎 パート・ド・ベールガラス展」</p>	<p>平成29年10月20日(金)1日間 (内覧会) ※会期は平成29年10月21日(土) ～平成29年12月17日(日)50日間</p>	<p>古川美術館 3,619人 (68人/日)  爲三郎記念館 3,646人</p>
<p>平成30年古川美術館 新春企画展 「寿ぎの四季」 分館爲三郎記念館 「季節の設え」</p>	<p>平成30年1月2日(火) ～平成30年2月12日(月・祝)37日間</p>	<p>古川美術館 3,281人 (89人/日)  爲三郎記念館 3,140人</p>
<p>分館爲三郎記念館 「花人・河村敦子 洋画家・平田豊美 妹に捧ぐ命の花」</p>	<p>平成30年2月16日(金) ～平成30年2月18日(日)3日間</p>	<p>爲三郎記念館 1,347人 (449人/日)</p>
<p>古川美術館 分館爲三郎記念館 「黒野清宇遺墨展—かなの美」</p>	<p>平成30年3月17日(土) ～平成30年3月31日(日)13日間 ※前会期は平成30年3月17日(土) ～平成30年4月15日まで</p>	<p>古川美術館 1,516人 (117人/日)  爲三郎記念館 1,452人</p>

入場者総数	古川美術館 22,531人 (89人/日) 爲三郎記念館 23,754人
	総計 46,285人
開館日数	251日

※参考：入館者総数の推移（平成28年度より、単館券の発行を開始したため、入館者総数の表記を変更した。）

平成28年度	美術館 24,535人(94人/日)	(開館日数 260日)
	記念館 24,418人	
	総計 48,953人	
平成27年度	美術館 23,607人(92人/日)	(開館日数 257日)
	記念館 23,781人	
	総計 47,388人	
平成26年度	22,243人(88人/日)	(開館日数 250日)
平成25年度	23,801人(92人/日)	(開館日数 257日)
平成24年度	25,807人(103人/日)	(開館日数 250日)

古川美術館 公益財団法人古川知足会財団設立30周年記念展「田村能里子—風を聴く旅—」  
分館爲三郎記念館 「田村能里子—風を聴く旅—」

会期	平成29年3月18日（土）～平成29年5月14日（日）まで
主催	公益財団法人古川知足会
特別協賛	SMB C日興証券株式会社
後援	愛知県教育委員会／名古屋市教育委員会／ スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
<p>初代館長・古川爲三郎（1890 - 1993）が美術館の建設を夢見て財団を設立してから30年が経ちました。この記念すべき年の幕開けとして爲三郎記念館の壁画を手掛けた、洋画家・田村能里子氏による個展を開催いたしました。古代朱を思わせる錆びついた赤の世界。砂の肌触りを感じさせるざらっとしたマチエール。風が吹き、空気が流れ光が舞う。そこに佇む女性たち。悠久の時を奏でる絵画世界。これが田村能里子が描き出してきた世界です。一貫して“人のすがた”を追求し、描き続けてきた田村能里子は、油彩画のみならず壁画の大作を手掛け、国内外問わず芸術活動を繰り広げてきました。田村レッドと称され、躍動する生命を象徴する赤。それは観る者の心を捉え、“人のすがた”は、私たちに生きる力と喜びを与えてきました。多くの人を魅了してやまない田村作品の原点は、アジアの地に根ざして逞しくそしてたおやかに生きる人々との出会いがありました。彼らを描き続けることによって育まれたデッサン力は田村作品の真髄といえます。瞬時に本質をとらえる洞察力、その時の空気までも描き出す的確な筆跡、あらゆる無駄な要素を排除した、シンプルな人の姿。それらが凝縮されたデッサンこそが田村作品を強靱にするエッセンス、生きる力です。本展覧会では田村がアジア生活の中で描きだした“素のままの人のすがた”をテーマにしました。未発表のデッサン「イサーンの赫い風」シリーズを中心に、読書人の雑誌「本」（講談社発行）でのカット絵の原画などまだ見ぬ田村能里子の世界を紹介しました。</p> <p>東洋人の使う腰の柔らかい筆で描いたような線描で対象に迫り、一秒一秒を惜しむように対象に惚れ込んで描き込んだ、田村の未発表デッサン「イサーンの赫い風」シリーズをお楽しみいただきました。</p>	
新聞記事	中日新聞（夕刊）2月23日、3月16日、23日、4月6日、13日 毎日新聞（夕刊）3月20日特集、4月22日東海版 読売新聞 5月10日 岐阜新聞 4月7日 信濃毎日新聞 4月13日
雑誌 その他	千種・名東咲楽4月号・5月号／キラッ都ナゴヤ3月号／月刊なごや3月号／ 博物館研究3月号・4月号・5月号／なごやNOW2017SPRINGV.1.4 染色文庫3月号／名古屋市文化振興事業団友の会だより4月号／北名古屋市民タイムズ3月24日号／各務原商工会議所会報4月号・5月号／タカシマヤ友の会通信／他
インターネット	学びネットあいち（愛知県生涯学習情報システム）

分館爲三郎記念館 財団設立30周年記念 檜舞台「緑風の宴」

会期	平成29年5月10日(水)～平成29年6月4日(日)
主催	公益財団法人古川知足会
	古川美術館の初代館長古川爲三郎が終のすみかとして愛し、103歳の天寿をまっとうしてからは「創建時の数寄の姿をとどめる邸宅を皆様の憩いの場に」という遺志により地域の皆様とともに歩んでまいりました古川美術館、爲三郎記念館は、その前身となる財団法人古川会の設立から30年がたちました。こうした記念すべき年に、芸どころ名古屋にある爲三郎記念館の庭園に檜舞台を設営し、日本の伝統芸能を次世代に向けて発信するイベントを開催して節目を迎えました。
新聞記事	中日新聞(夕刊)4月27日、千種ホームニュース 5月13日 茶華道ニュース 5月15日
雑誌 その他	まなびいあいち(愛知県生涯学習推進センター情報誌)2017.4～6号
インターネット	学びネットあいち(愛知県生涯学習情報システム)

古川美術館 公益財団法人古川知足会財団設立30周年記念展 「山本眞輔 彫刻60年の軌跡」  
分館爲三郎記念館 特別展「山本澄江の世界—祈りの道」

会期	平成29年5月27日(土)～平成29年7月23日(日) ※「山本澄江の世界」は平成29年6月20日(火)～平成29年7月23日(日)
主催	公益財団法人古川知足会
後援	愛知県教育委員会／名古屋市教育委員会／ スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社／ 中日新聞社(山本眞輔展)／CBCテレビ(山本眞輔展)
<p>街角で出会う女性彫像が生み出すいのちの輝き、新しい風景。愛知県西尾市一色町出身(1939年生)で日本藝術院会員として日本彫刻会を代表する山本眞輔の彫刻は、駅や公園、百貨店など数多くの場所に設置され、自然と共鳴し合い希望ややすらぎを人々の心に届けています。山本眞輔は、東京教育大学(現筑波大学)卒業後、二度のイタリア留学を通じ、清楚な若い女性像を主題とした「祈り」シリーズ、海外旅行などから得た心象風景を作品にした「心の旅」シリーズなどを展開してきました。本展では主要な受賞作品「森からの声」(日展内閣総理大臣賞)・「生生流転」(日本藝術院賞)、格調高い「祈り」シリーズ、異国の風を運ぶ「心の旅」シリーズ、知恩院献納の「旅立ちの勢至丸さま」、京都府宮津市設置の「祈り 細川ガラシャ夫人像」などを展開しました。また、デッサンやテラコッタ、蠟型、大理石彫刻など、ほとぼしる情熱を投影した作品も紹介しました。山本眞輔の60年に渡る彫刻の軌跡と、幅広い表現力をお伝えし、その神髄に迫りました。</p> <p>また、爲三郎記念館では、山本眞輔夫人であります山本澄江の世界展を開催いたしました。夫である彫刻家を支えながら、心象風景に植物や人物を組み合わせた他に類を見ない印象的な絵画を描き続けています。愛知県教育大学美術科時代よりペン画の魅力に取りつかれ、イタリア国立ローマアカデミア留学を経て、第1回上野の森美術館「日本の自然を描く展」(1988年)では文部大臣奨励賞を受賞するなど、高い評価を得てきました。その表現方法は独特で、小画面にペンのみで植物や鳥を繊細に描いたモノトーン作品、そして近作(1988年～)「祈りの道」シリーズとして、小画面に色彩豊かな季節の草花をペンとアクリルで描いています。これまでまとまった個展を開催してこなかった山本澄江の画業50年を記念する展覧会となりました。</p>	
新聞記事	中日新聞 4月30日夕刊、5月11日夕刊、18日夕刊、25日夕刊、27日、 6月8日夕刊、15日夕刊、22日夕刊、27日、7月20日 中部経済新聞 名古屋版 5月1日 とよたみよしホームニュース6月17日／千種ホームニュース5月13日／ 愛三時報(西尾エリア) 5月31日／自治労名古屋6月21日／茶華道ニュース6月 尾北ホームニュース6月9日／全日本美術5月号・7月号／新美術新聞5月21日他
雑誌 その他	千種・名東咲楽7月号／月刊なごやか5月号／千種フリモ7月号 名古屋市文化振興事業団友の会だより6月号／各務原商工会議所会報6・7月号／ タカシマヤ友の会通信ハミングタイム5・6月号／月刊たんどん6月号、 月刊東海財界6月号／美じょん新聞5月20日号／美術の窓6月号、7月号 なごや文化情報 7・8月「この人と」インタビュー記事
インターネット	D o k k a ! おでかけ探検隊/日本観光ネットワーク「旅楽」/まなびネットあいち他

古川美術館 分館爲三郎記念館 財団設立30周年記念展

「逸品セレクション 前期 -爲三郎の夢-」

「逸品セレクション 後期 -継ぐ 過去から未来へ-」

会期	前期 平成29年8月5日(土)～平成29年9月10日(日) 後期 平成29年9月16日(土)～平成29年10月9日(月・祝)
主催	公益財団法人古川知足会
後援	愛知県教育委員会／名古屋市教育委員会／ スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
<p>今から30年前、1987年に財団法人古川知足会が設立されました。その3年後の1991年に古川美術館が開館しました。古川爲三郎が若い頃から蒐集してきた美術品コレクションとして、現在ではその作品を中心に年に5回の展覧会を開催しています。爲三郎の美術品を私蔵することなく地域の皆様に広く親しんでいただきたいという遺志を受け、美術館とともに昭和初期の佇まいを残す分館爲三郎記念館(爲三郎のかつての居宅)を舞台に活動を続けています。そして開館以来、所在地の千種区のみならず、中部地方に縁のある作家をはじめとした作品の蒐集にも努めて参りました。この度、財団設立30周年を記念して、その歩みを振り返るべく、前期と後期に分けて、古川美術館の名品・優品を一堂に展示しました。前期には爲三郎が蒐集してきた作品の中でも“逸品”と自負する作品を展示しました。日本画からは、爲三郎が「皇后さまの薔薇」と言ってとても大事にしていた前田青邨「薔薇」や竹内栖鳳「秋雨」、美人画コレクションからは上村松園「初秋」、伊藤小坡「慈愛」、富士画コレクションからは横山大観「三保の富士・松原」等を展示しました。洋画からは和田英作「薔薇」、鬼頭鍋三郎「惜春」中川一政「薔薇」、その他、地元作家の杉本健吉「牡丹」等、爲三郎が長年かけて蒐集し、愛蔵した作品の数々を展示しました。分館爲三郎記念館でも“逸品”工芸編として、過去10年の新規収蔵品の他、茶道具などの工芸品を中心に爲三郎遺愛の数々を展示しました。爲三郎遺愛の逸品と出会い、優品と語り合うひとときをご堪能いただきました。</p> <p>後期では当館が誇るフランス中世の装飾写本である「ブシコー派の画家の時禱書」を4年ぶりに特別公開しました。また、「ブシコー派の画家の時禱書」に合わせ、近年蒐集した数々の装飾写本のファクシミリ版(精密な複製本)も併せて公開しました。西洋に花開いた写本芸術の一端をお楽しみいただきました。同時に、過去10年間に蒐集した新規収蔵品と、これまで共に歩んできた当館ゆかりの作家、また中部地方を拠点とする活動する作家の作品を一堂に展示し、爲三郎の意思を受け継ぎ、地域に密着した美術館を目指し、未来へと続く道を示しました。</p>	
新聞記事	中日新聞(夕刊)7月27日、9月7日他 毎日新聞(催し)8月5日、19日、9月2日、16日、23日他 朝日新聞(夕刊)8月1日 信濃毎日新聞 8月24日 岐阜新聞 7月1日
雑誌 その他	愛知冠婚葬祭互助会9月号/咲楽 千種・名東版・名古屋中央版8月号/ 月刊なごやか8月号/ 博物館研究8・9・10月号/各務原商工会議所会報8月・9月号 他
インターネット	D o k k a ! おでかけ探検隊/日本観光ネットワーク「旅楽」/まなびネットあいち他

古川美術館財団設立30周年記念展 「藤森兼明 一人を魅せる技―」

分館爲三郎記念館 「内田邦太郎 パート・ド・ベールガラス展」

会期	平成29年10月21日(土)～平成29年12月17日(日)
主催	公益財団法人古川知足会
特別協賛	SMB C日興証券株式会社
協賛	トランコム株式会社(藤森兼明展)
後援	愛知県教育委員会/名古屋市教育委員会/中日新聞社/ スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社/ CBCテレビ(藤森兼明展)/東海テレビ放送(藤森兼明展)
オフィシャルサ ポーター	喜多郎(藤森兼明展)
<p>現代洋画界を代表する藤森兼明(名古屋在住)の作品は、中世キリスト教美術と現代女性の肖像とを対峙させた荘厳な作風で、圧倒的な存在感を放っています。1935年富山県砺波市に生まれた藤森は、金沢美術工芸大学油絵科にて高光一也の指導を受けました。現在まで日展、光風会を主として活動し、2008年には日本藝術院会員に就任しています。本展では、幼いころから一貫して描き続ける「人の姿」と、藤森の類まれなる表現力に焦点をあてました。家族や友人など身近な人々を描いた画業の初期作品から、近年の燦然とした悠久の輝きを放つ清らかな祈りをテーマとしたアドレションシリーズ、そして世界的なアーティスト 喜多郎を描いた2016年日展作品まで、人の姿をたどりながら画業の軌跡を展覧しました。また、画家の取材したビザンチン聖堂などの写真や、貴重な画材、学生時代から日記のように日々取り組んだデッサンもあわせてご覧いただきました。</p> <p>パート・ド・ベールとはフランス語で「ガラスのペースト」「練りガラス」という意味で、細かく砕けたガラスの粉を鋳型に詰め焼成する技法です。アール・ヌーヴォー期に流行を迎えますが、第二次世界大戦を境に途絶え、戦後しばらくガラス工芸の中でも最も難しい幻の技法とされてきました。内田邦太郎は、東京芸術大学工芸科の鋳金を専攻し、卒業後は大阪市立工芸試験場無機化学課ガラス研究室にて色ガラスの調合研究を深め、また吹きガラスの技術も学びます。アール・ヌーヴォー作家アンリ・クロ(1840-1907)作品との出会いで吹きガラスでは再現しがたい複雑な美しさに魅了された内田は、パート・ド・ベールを考案し、さらに発展させた形で発表しました。内田の手によって蘇ったパート・ド・ベールのすべてをご紹介します。</p>	
新聞記事	中日新聞(夕刊)10月12日、19日、26日他 毎日新聞(夕刊)10月28日、11月11日、18日、25日他 朝日新聞(夕刊)8月1日/信濃毎日新聞 8月24日/岐阜新聞 7月1日
テレビ	スターキャット 10月22日 CBCテレビ ニュース 10月20日/東海テレビ ニュース 10月20日
雑誌 その他	千種区咲楽10月号/千種フリモ11月号/キラッ都ナゴヤ11・12月号/ 月刊なごやか11月号/まなびあいち10・11・12月号/ 月刊ぶらざ11月号/博物館研究11・12月号 他
インターネット	日展ホームページ/光風会ホームページ/Dokka!おでかけ探検隊/日本観光ネットワーク「旅楽」/まなびネットあいち 他

古川美術館 新春企画展 「寿ぎの四季」

分館爲三郎記念館「季節の設え」

会期	平成30年1月2日(火)～平成30年2月12日(月・祝)まで
主催	公益財団法人古川知足会
後援	愛知県教育委員会／名古屋市教育委員会／ スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
<p>新しき年を迎えるこの新春に、館蔵品で日本の美しい四季を巡ります。百花の魁の梅、日本を代表する花・桜が咲き誇る春、水が煌めき、木々の命が輝く夏、燃えるような紅葉が美しい秋、すべてを白一色に塗りかえ静寂をもたらす雪の冬。日本には四季折々の美しさが溢れています。</p> <p>本展では、そんな日本の四季を描いた作品とともに、伝統的な日本画のジャンルである山水、花鳥、美人画にみる四季の表現、心に染みる日本の風景を描き続けた川合玉堂の四季など、「日本の四季」をテーマに展覧しました。</p>	
新聞記事	<p>中日新聞(夕刊) 12月14日、21日、平成30年1月18日、25日 他</p> <p>毎日新聞(夕刊) 12月23日、平成30年1月13日、20日、27日 他</p> <p>朝日新聞(夕刊) 12月26日 他</p> <p>岐阜新聞 平成30年1月12日</p> <p>信濃毎日新聞 12月28日</p> <p>千種ホームニュース1月13日、茶華道ニュース1月1日、2月1日</p>
雑誌 その他	<p>千種・名東咲楽平成30年1・2月号／月刊なごやか平成30年1月号／</p> <p>博物館研究平成30年1・2月号／月刊なごや12月号</p> <p>名古屋市文化振興事業団友の会便り12月号／</p> <p>タカシマヤ友の会通信ハミングタイム平成30年1・2月号</p> <p>キラット都ナゴヤ1月号</p> <p>豊田市民ギャラリーインフォメーション2月号</p> <p>NAGOYA CALENDER(英語版)2018年1月号</p> <p>他</p>
インターネット	<p>Dokka!おでかけ探検隊/日本観光ネットワーク「旅楽」/</p> <p>まなびネットあいち他</p>

分館爲三郎記念館 「花人・河村敦子 洋画家・平田豊美 妹に捧ぐ命の花」

会期	平成30年2月16日（金）～平成30年2月18日（日）まで
主催	公益財団法人古川知足会
後援	愛知県教育委員会／名古屋市教育委員会／ スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
<p>今から10年前、一人の洋画家がこの世を去りました。その人の名は平田豊美、花人・河村敦子の実の妹にあたります。花人・河村敦子は、変化に富んだ日本の四季を心より愛で、生け花を通じ表現してきました。花器にいけられた花自体のフォルムのみならず、展示する場を意識した河村の活け花は空間を斬新にも一新させる力を秘めています。本展では、そんな花人・河村敦子の&lt;&lt;花を活ける&gt;&gt;ルーツに迫りました。</p> <p>河村の妹・平田は画家になることを夢見ていましたが両親に反対され、40歳でようやく絵に向き合うことが出来ました。しかしこれからという60歳に胃癌にかかり、61歳でこの世を去ります。最後まで筆をとり、短くも太く描き続けた彼女の生き様は、花人・河村敦子の心に強い影響を与えました。平田は晩年、北海道の風景に惹かれ、各地を巡り作品を手掛けました。それは1995年、心機一転をするために河村が訪れた地でもありました。強く邁進する姉の足跡が&lt;&lt;生きたい&gt;&gt;と願い筆をもつ平田の背中をおしたのでしょう。晩年の渾身の作品群はこうした姉妹の絆から生まれたものです。そして河村は平田の没後、妹への想いを追体験する為に彼女の作品の取材地を巡ります。それは妹の通った道を辿り、そこで何を見て、何を感じたか、妹の想いを紡ぐ旅となりました。河村から平田へ、そしてまた河村へと廻ったこの想いは、その後の河村の強い表現力となったのです。</p> <p>花人・河村敦子の花には人の心に寄り添える優しさがありません。それは河村の辿った妹への追体験が形となっているからでしょう。本展は平田の没後10年、ようやく妹への想いと向き合う決心のついた河村の姉妹の絆、弔いの心を活け花に託し展開しました。</p>	
新聞記事	中日新聞（夕刊） 平成30年2月15日 信濃毎日新聞 平成30年2月15日 茶華道ニュース 平成30年2月15日
雑誌 その他	キラッ都ナゴヤ平成30年2月号

古川美術館

分館爲三郎記念館 「黒野清宇 遺墨展—かなの美—」

会期	平成30年3月17日(土)～平成30年3月31日(金) ※会期は平成30年4月15日(日)まで
主催	公益財団法人古川知足会/玄之会
後援	愛知県教育委員会/名古屋市教育委員会/中日新聞社/公益社団法人日本書芸院 公益社団法人中部日本書道会/東海テレビ放送株式会社/ スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
<p>2017年7月に逝去した日本のかな書を代表する黒野清宇(1930～2017)の遺墨展、彼の主宰した《玄之会》の協力のもと、開催いたしました。</p> <p>黒野清宇(本名・貞夫)は豊田市に生まれ、若い頃より書家を志し、愛知学芸大学(現・愛知教育大学)在学中に《かな》に惹かれ、古筆の臨書・倣書に励みました。大会場での展覧会が行われるようになると、壁面芸術としての書が求められ、師・宮本竹逕らと一緒に《大字かな書》運動に加わり、優雅で典雅なかな文字のみではない、《かな》の新たな可能性を求めています。そして黒野は、中国の書論のみならず日本の書論から《かな》の真髓と書法を研究し、更には現代的な意義を確立し、かな書ならではの文字と文字のつながり、流麗で柔らかな線、墨の濃淡の妙等、独自の書の境地切り拓いたのです。</p> <p>日展・日本書芸院展を中心に活躍し、愛知県芸術文化選奨文化賞、日展文部科学大臣賞等、受賞を重ね、第61回日本芸術院賞を受賞しました。同時に母校・愛知教育大学の教授として後進の育成、かな書の普及発展に大きな功績を残しました。</p> <p>本展では、晩年、黒野が特に熱心に研究した万葉集の「貧窮問答歌」を中心に、彼の書の原点ともいえる平安時代の散らし書きの伝統を汲んだ優美で繊細な書、また若いころの柔和で美しいかなの帖、よみやすい現代的な放ち書きで日々の想いを綴った書、さらには蒐集・愛用した文房四宝なども展示し、さまざまな黒野清宇の世界を展覧しました。また、分館爲三郎記念館では黒野の作品と共に、玄之会会員の作品も展示し、黒野につづく門下の作品も併せて紹介しました。</p>	
新聞記事	毎日新聞(夕刊)平成30年3月17日、23日、31日 他
テレビ ラジオ放送	東海テレビ ニュース 平成30年3月18日
雑誌 その他	千種・名東咲楽3月号/キラッ都ナゴヤ3月号/月刊なごや2月号/ 博物館研究 3月号/マルエイ友の会会報誌春号/ 他
インターネット	D o k k a !おでかけ探検隊/日本観光ネットワーク「旅楽」/まなびネットあいち他

## ii) 美術品、芸術品等の収集

寄贈の申し入れを受け、以下の美術工芸品を寄付いただきました。(計12点)

形状	作者名	作品名	制作年	寄付者
額装	長谷川牧風	「一枚の硝子」 智恵子歌		長谷川美智子氏
絵画	岡田眞治	マスカレード		岡田眞治氏
ブロンズ	山本眞輔	タオルミーナ		山本眞輔氏
絵画	山本澄江	MY LANDSCAPE「祈りの道」一野の花 それぞれのいのちー		山本澄江氏
絵画	藤森兼明	デッサン類一式		藤森兼明氏
絵画	藤森兼明	追憶		藤森兼明氏
絵画	渡辺武夫	ヴェネチアの小路		藤森兼明氏
鉄釉金彩壺	加藤鈔	実り		加藤令吉氏
鉄釉金彩花器	加藤鈔	條		加藤令吉氏
絵画	藤森兼明	喜多郎氏素描		藤森兼明氏
茶碗	清水日呂志	三島茶碗 干支 戌		對馬正道氏
茶碗	水野教雄	練込茶碗		對馬正道氏

## iii) 所蔵作品の貸し出し・図録等への掲載

所蔵作品の貸出、図録等への掲載依頼があり、以下の貸出、掲載を行いました。

作品名	開催日時	展覧会・内容・会場	主催・依頼者
堅山南風 「桃と冬瓜」 堂本印象 「秋風秋水」	6月10日(土) ～7月9日(日)	松坂屋美術館主催 「近現代日本画」一明治から受け継がれてきたもの、未来へ受け継いでいくものー	松坂屋美術館 株式会社アート・ベンチャー・オフィス ショウ
上村松園 「紅葉狩」 伊東深水 「香衣」 広田多津 「春装」	7月31日(月)～ 8月24日(木)	チャリティイベント 第23回 秘蔵の名品アートコレクション展 「佳人礼賛」うるわしの姿を描く	ホテルオークラ東京
青山義雄 「地中海岸(南仏)」	7月上旬から一ヵ月	「青山義雄作品集」戦前・戦後全2巻	青山太郎氏 株式会社青幻舎
ブシコー派の画家の時 時書 「受胎告知」	平成23年11月初 版発行(増刷分)	「カリグラフィー・ブック デザイン・アート・クラフトに生かす手書き文字」 増刷分に全図、加工なし、フルカラー使用	三戸美奈子氏
竹内栖鳳 「富嶽」 池田遙邨 「嵐山秋色」	平成30年 1月2日(月)～ 1月17日(日)	新潟伊勢丹 近現代代表日本画家による美しき世界の競演「美しき風景・美しき日本画」展 会場 新潟伊勢丹7Fアートホール	新潟日報 株式会社アート・ベンチャー・オフィス ショウ

iv) 美術品、芸術作品等の適切な管理、保存

所蔵作品の保存環境の整備の為、以下の施設整備を行いました。

整備箇所	日程	整備内容	実施業者
収蔵作品の収納ケース	3月	藤森兼明 素描作品収蔵ケース	株式会社金剛
美術館2階展示室 展示壁面防黴塗り直し	3月	展示壁面への防黴塗装、仕上げの塗り直し	インテリアの矢木
収蔵庫保存環境整備 資材一式	3月	温湿度調節アートソープ、ソールマット、 文化財用殺虫剤パナプレート、害虫忌避剤、 捕虫器、モルデナイベ袋エージレスセットの 購入	中部資材株式会社
展示品収蔵棚	3月	展示品・展示補助具収蔵ラック、中性紙保存 箱の購入	株式会社金剛

v) 収蔵する美術品、芸術作品等の調査研究

展覧会出品作品を中心に作者・作品の調査を行い、資料の充実を進めるとともに、関連図書の入手に努めました。

調査内容	日程	調査内容	実施先
所蔵作家の作品所在 確認	平成29年11月1 6日	洋画家 石河彦男作品	名古屋芸術大学

また、所蔵作品を紹介しているAVルーム改修を行いました。

整備箇所	日程	改修内容	実施業者
AVルーム改修	平成29年11月 16日	壁面の拡張、プロジェクター画面から 80インチ型の液晶画面への交換取付 映像の再プログラミング	富士ゼロックス株式 会社 株式会社電研コテム

## II. 美術、芸術に関する教育普及事業

### i) 保育園の総合学習の受け入れ

保育園児の総合的な学習の時間として行われる地域学習の一環として、美術鑑賞、見学マナーをはじめ、抹茶を飲む体験の説明を行いました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
藤森兼明展 内田邦太郎展	10月26日(水)	NPO 法人母里ん子 校外体験学習の一環	当館職員	44名
藤森兼明展 内田邦太郎展	11月14日(火)	社会福祉法人青山保 育園年長組 校外体 験学習の一環	当館職員	27名

### ii) 中学生の総合学習の受け入れ

中学校の総合的な学習の時間として行われる地域学習の一環として、美術館の紹介をはじめ、美術館の業務内容全般の説明を行いました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
山本眞輔展 山本澄江展	6月6日(火)	椋山女学園中学校1 年生 授業の一環	当館職員	25名
寿ぎの四季展	1月26日(金)	名古屋市立若葉中学 校 分散学習の一環	当館職員	7名
寿ぎの四季展	2月9日(金)	名古屋市立港北中学 校 分散学習の一環	当館職員	23名

### iii) 高校生の授業の受け入れ

高校生の授業の一環として、美術館鑑賞をはじめとする課外授業を受け入れました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
寿ぎの四季展	1月19日(金)	椋山女学園高等学校 日本文化女性史専攻 3年生 授業の一環	当館職員	15名
黒野清宇展	3月31日(土)	インターンシップ受 け入れ	当館職員	1名(同朋高校)

### iv) 大学生の授業の受け入れ

大学生の授業の一環として、美術館鑑賞をはじめ、美術講演会を受講する課外授業を受け入れました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
山本眞輔展 山本澄江展	5月27日(土)～ 7月23日(日)	名古屋市立大学 美 術・デザイン史 授 業の一環	当館職員	105名 (期間中)
山本眞輔展 山本澄江展	7月8日(土)	愛知東邦大学 授業 の一環	当館職員	19名

逸品セレクション展	9月29日(金)	名古屋外国語大学 留学生に日本美術と数寄屋造り、日本庭園を紹介 授業の一環	当館職員	19名
-----------	----------	---------------------------------------	------	-----

v) 専門学校生の授業の受け入れ

専門学校の授業の一環として、分館爲三郎記念館の紹介をはじめ、茶席の体験や数寄屋建築の建物の説明を行いました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
藤森兼明展 内田邦太郎展	12月15日(金)	山崎インテリア塾 インテリアコーディネーター受験対策講座 授業の一環	当館職員	2名
寿ぎの四季展	1月16日(火)	外語学院アドバンス アカデミー 授業の一環	当館職員	40名
	1月17日(水)			40名
	1月18日(木)			40名

vi) 博物館実習生の受け入れ

学芸員資格取得のための実地研修の一環として、4大学の大学生5名を博物館実習生として受け入れました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
—	8月22日(火)～ 8月25日(金)、 30日(水) 計5日間	博物館実習	当館職員	5名

vii) 教諭の10年経験者研修の受け入れ

教員の10年経験者研修の一環として、社会体験研修を行うとして受け入れました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加者
—	8月23日(水)～ 8月25日(金) 計3日間	10年経験者研修	当館職員	愛知県立旭丘高等学校教諭 山口貴士 (院展作家)

viii) 出張講義

当館学芸員による外部施設での出張講義を行いました。

依頼先	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
東海東京証券プレミアムサロンミッドランドでの出張講義	4月12日(木)	アール・ヌーヴォー 装飾芸術の魅力 (1回目)	当館職員	35名
SMB C日興証券名古屋支店での出張講義	4月12日(水)	仏教美術へようこそ ～平安時代の仏像	当館職員	80名
グループ潤(退職者任意勉強団体)千種生涯センターでの出張講義(2回目)	4月19日(水)	仏教美術入門② 菩薩・天部の見分け方、作品紹介	当館職員	13名
名古屋市立大学での出張講義	4月25日(水)	美術・デザイン史1回目 「コスモロジー～日本美術の形成・鑑賞から生まれた美術」	当館職員	107名
東海東京証券プレミアムサロンミッドランドでの出張講義	5月9日(火)	アール・ヌーヴォー 装飾芸術の魅力(2回目)	当館職員	35名
名古屋市立大学での出張講義	5月10日(水)	美術・デザイン史2回目 「シンボリズム～色彩の持つイメージ・日本の色彩、文様」	当館職員	107名
SMB C日興証券名古屋支店での出張講義	5月11日(木)	仏教美術へようこそ ～鎌倉時代の仏像	当館職員	80名
丸の内ロータリークラブでの卓話	5月25日(木)	日本の名画～鑑賞方法	当館職員	40名
東海東京証券プレミアムサロンミッドランドでの出張講義	6月5日(水)	人生で一度は訪れたい美術館 アムステルダム美術館	当館職員	35名
名古屋市立大学での出張講義	6月14日(水)	美術・デザイン史3回目「リアリティー」～ヨーロッパのリアリティー、日本のリアリティー	当館職員	107名
SMB C日興証券文化芸術セミナーでの出張講座	6月21日(水)	「日本絵巻～伴大納言絵巻」1回目(3回講座)	当館職員	70名

名古屋市立大学での出張講義	6月28日(水)	美術・デザイン史4回目「テクノロジーとプロダクション」	当館職員	107名
名古屋市立大学での出張講義	7月12日(水)	美術・デザイン史5回目(最終回)「トランスフォーメーション」～日本の美意識	当館職員	107名
SMB C日興証券文化芸術セミナーでの出張講座	7月19日(水)	「日本絵巻～信貴山縁起絵巻」2回目(3回講座)	当館職員	85名
東海東京証券プレミアサロンミッドランドでの出張講義	8月10日(木)	人生で一度は訪れたい美術館 ウフィツィ美術館	当館職員	34名
名古屋西ロータリーでの卓話	8月15日(火)	日本の名画～鑑賞方法	当館職員	40名
SMB C日興証券文化芸術セミナーでの出張講座	8月29日(火)	「日本絵巻～鳥獣人物戯画を愉しむ」3回目(3回講座)	当館職員	90名
愛知大学車道オープンカレッジでの出張講義	8月26日(土)	一流の芸術を極める	当館職員	16名
SMB C日興証券文化芸術セミナーでの出張講座	9月26日(火)	日本最大級の画家・天才狩野永徳2回目(2回講座)	当館職員	114名
かすがい熟年大学(芸術文化コース)での出張講座	10月3日(火)	女性表現の多様性～浮世絵から日本洋画まで	当館職員	70名
東海東京証券プレミアサロンミッドランドでの出張講義	10月6日(金)	巨匠列伝 横山大観1回目	当館職員	35名
SMB C日興証券文化芸術セミナーでの出張講座	10月25日(水)	絵師たちの下剋上・長谷川等伯1回目(2回講座)	当館職員	137名
SMB C日興証券文化芸術セミナーでの出張講座	11月28日(火)	「赤の画家」奥田元宋・田村能里子1回目(2回講座)	当館職員	80名

東海東京証券プレミアサロンミッドランドでの出張講座	11月28日(火)	巨匠列伝 横山大観 2回目	当館職員	35名
東海東京証券プレミアサロンミッドランドでの出張講座	1月19日(火)	巨匠列伝400年の美 華麗なる狩野派の絵師たち 1回目	当館職員	35名
グループ潤(退職者任意勉強団体)千種生涯センターでの出張講義	2月7日(水)	「赤の画家」奥田元 宋・田村能里子	当館職員	15名
東海東京証券プレミアサロンミッドランドでの出張講座	2月6日(火)	巨匠列伝400年の美 華麗なる狩野派の絵師たち 2回目	当館職員	35名

#### ix) 児童対象ワークショップの開催

教育普及活動の一環として、開催する展覧会や季節に合わせた様々なワークショップを開催しました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
逸品セレクション 前期	8月9日(水)	美術館ツアー!!日本画ってなんだ?	浅野秀和氏 (日本画家)	15名
逸品セレクション 前期	8月24日(木)	子どものための美術館の歩き方	浅野秀和氏 (日本画家)	13名
藤森兼明展 内田邦太郎展	11月11日(土)	木の実で楽器を作って演奏しよう!!	つつみあつき氏 (クラリネット奏者)	40名

## エ) ワークショップの開催

教育普及活動の一環として、開催する展覧会や季節に合わせた様々なワークショップを開催しました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
田村能里子展	4月8日(土)	におひ袋、文香作り	小川薫氏(有限会社 春香堂代表取締役社長)	8名
田村能里子展	4月22日(土)	折り紙で端午の節句 を祝おう	日本折紙協会	16名
山本眞輔展	6月17日(土)	扇子作りに挑戦	榎末廣堂	7名
逸品セレクション展 前期	8月25日(金)	美術館で化石さがし & アンモナイトアク セサリー作り	足立守氏(名古屋大 学 特任教授) 藤田勝代氏(公益財団法 人深田地質研究所)	28名
逸品セレクション展 後期	9月21日(木)	ペーパークラフトで 知足庵を作ろう	山崎茂雄氏	17名
逸品セレクション展 後期	9月27日(水)	ディッシュガーデン で爲三郎記念館庭園 作り	白山峰代氏(諸戸緑 化産業株式会社)	15名
藤森兼明展 内田邦太郎展	12月9日(土)	季節の切り絵ワーク ショップ	当館職員	16名
寿ぎの四季展	1月27日(土)	金箔で蒔絵体験	鶴飼敏伸氏(工芸家)	20名
河村敦子展	2月28日(水)	茶道体験	当館職員	41名

x i) 美術講座等の開催

展覧会の担当学芸員および外部講師による美術講座や文化講座を開催しました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
田村能里子展	4月12日(水)	文学講座 「悪女と呼ばれた女 たち 孝謙天皇」	奥山景布子氏 (小説家)	66名
田村能里子展	5月2日(火)	文学講座 「悪女と呼ばれた女 たち 染殿后」	奥山景布子氏 (小説家)	65名
山本眞輔展 山本澄江展	6月28日(水)	文学講座 「悪女と呼ばれた女 たち 和泉式部」	奥山景布子氏 (小説家)	69名
逸品展セレクション 前期	9月1日(金)	特別講座「ラピスラ ズリ～絵画の中の青 い宝石」	足立守氏(名古屋大 学 特任教授)	43名
逸品展セレクション 前期	9月5日(火)	美術講座 「爲三郎と古川美術館」	当館職員	40名
藤森兼明展 内田邦太郎展	11月3日(金・祝)	文化の日 連続講座 「尾張・名古屋の茶 の湯の源流を探る」	長谷義隆氏(中日新 聞社)	59名
藤森兼明展 内田邦太郎展	11月4日(土)	文化の日 連続講座 「名古屋の庭園文化 と為三郎祈念館」	野村勘治氏(野村庭 園研究所 所長)	22名
藤森兼明展 内田邦太郎展	11月5日(日)	文化の日 連続講座 「池下・覚王山の歴 史と文化」	高木備太郎氏	20名
寿ぎの四季展	2月3日(土)	美術講座「節分～鬼 とはなんだ?」	当館職員	53名

x ii) アーティストトークの開催

展覧会の出品作家によるアーティストトークを開催しました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
山本眞輔展 山本澄江展	5月27日(土)	展示作品の解説	山本眞輔氏	100名
山本眞輔展 山本澄江展	6月20日(火)	展示作品の解説	山本澄江氏	120名
山本眞輔展 山本澄江展	7月1日(土)	展示作品の解説	山本眞輔氏	100名
山本眞輔展 山本澄江展	7月15日(土)	展示作品の解説	山本澄江氏	62名
藤森兼明展 内田邦太郎展	10月21日(土)	展示作品の解説	内田邦太郎氏	24名
藤森兼明展 内田邦太郎展	11月25日(土)	展示作品の解説	藤森兼明氏	73名
藤森兼明展 内田邦太郎展	12月2日(土)	展示作品の解説	内田邦太郎氏	30名
河村敦子展	2月17日(土)	展示作品の解説	河村敦子氏	252名
黒野清宇展	3月17日(土)	展示作品の解説	渡辺笠鶴氏 村瀬俊彦氏	35名
黒野清宇展	3月24日(土)	展示作品の解説	近藤浩乎氏 安田硯月氏	40名
黒野清宇展	3月31日(土)	展示作品の解説	永平巳旺子氏 中村江月氏	75名

x iii) トークショーの開催

展覧会の出品作家によるトークショーを開催しました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
田村能里子展	4月5日(水)	「命あるものの美しい姿 田村能里子のまなざし」	田村能里子	153名

x iv) ライブパフォーマンスの開催

展覧会の出品作家によるライブパフォーマンスを開催しました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
藤森兼明展 内田邦太郎展	10月22日(日) (午前) (午後)	展示作品の解説 「喜多郎を描く！」 ライブパフォーマンス (クロッキー)	藤森兼明氏 喜多郎氏	50名 41名

x v) ギャラリートークの開催

展覧会の担当学芸員および外部講師によるギャラリートークを開催しました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
田村能里子展	4月9日(日)	展示作品の解説	当館職員	23名
田村能里子展	4月29日(土・祝)	展示作品の解説	当館職員	24名
山本眞輔展 山本澄江展	6月10日(土)	展示作品の解説	当館職員	15名
山本眞輔展 山本澄江展	6月24日(木)	展示作品の解説	当館職員	27名
山本眞輔展 山本澄江展	7月7日(土)	展示作品の解説	当館職員	25名
逸品展セレクション 前期	8月5日(土)	展示作品の解説	当館職員	29名
逸品展セレクション 前期	9月3日(日)	展示作品の解説	当館職員	41名
逸品展セレクション 後期	9月20日(水)	展示作品の解説	当館職員	40名
藤森兼明展 内田邦太郎展	11月12日(日)	展示作品の解説	当館職員	25名
藤森兼明展 内田邦太郎展	11月17日(金)	展示作品の解説	当館職員	20名
藤森兼明展 内田邦太郎展	12月16日(土)	展示作品の解説	当館職員	20名
寿ぎの四季展	1月2日(火)	展示作品の解説	当館職員	21名
寿ぎの四季展	1月18日(木)	爲三郎前館長誕生日 特別ギャラリートーク	当館職員	34名
寿ぎの四季展	1月26日(金)	展示作品の解説	当館職員	28名
寿ぎの四季展	2月10日(土)	展示作品の解説	当館職員	36名
黒野清宇展	3月21日(水・祝)	展示作品の解説	当館職員	26名

### Ⅲ. 施設の貸与

地域社会における芸術、文化の振興を目的として活動する団体へ美術館施設を貸与いたしました。

会場	日程	テーマ・内容等	利用者
分館爲三郎記念館	4月4日(火)	J Aバンクあいちポスター撮影	株式会社ノワールド
古川美術館 会議室	4月9日(日)	池下住宅管理組合通常総会	池下住宅管理組合
古川美術館 会議室	4月29日(日)	池下住宅管理組合通常総会	日本ハウズイング
古川美術館 会議室	6月11日(日) 7月2日(日) 7月16日(日) 8月27日(日) 9月3日(日) 10月1日(日) 12月3日(日) 12月10日(日)	中京文化こどもいけ花教室	小川珊瑚氏
古川美術館 会議室	6月11日(日)	池下住宅管理組合通常総会	日本ハウズイング
古川美術館 会議室	8月27日(日)	池下住宅管理組合通常総会	日本ハウズイング
古川美術館 会議室	12月2日(土)	野村勘治先生の講演会(日本庭園について)	一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟
古川美術館 会議室 分館爲三郎記念館	12月2日(土)	CBC輝け!二十歳「ルーキー展」作家説明会会場	CBCクラブ
分館爲三郎記念館	1月6日(土) 1月8日(日・祝)	中京文化こどもいけ花教室発表会	小川珊瑚氏
古川美術館 分館爲三郎記念館	1月11日(木)	千種区の魅力紹介映像作成事業	千種区役所区政地域力推進室
分館爲三郎記念館	2月21日(水)	本條秀五郎氏民謡演奏動画撮影	東海風流プロジェクト
分館爲三郎記念館 茶室 知足庵	2月23日(金)	和菓子(生菓子・半田松華堂)のイメージ撮影 MOOK大人の名古屋V.1.39用	株式会社ネオパブリシティ
分館爲三郎記念館	2月24日(土) 2月25日(日)	淡交会愛知第三支部会員の研修茶会「なごやか茶会」	淡交会愛知第三支部
分館爲三郎記念館	3月11日(日)～ 3月12日(月)	「茶道美術品展」	茶道具商ながさか
古川美術館 会議室	3月25日(日)	池下町2丁目町内会総会	池下町2丁目町内会

#### IV. 展覧会関連事業

展覧会開催期間中に、茶会や美術ツアーなど様々な催しを開催しました。また、平成19年9月よりはじめた開館時間の延長（午後8時まで開館）の弾力的運用を継続し、昨年度に引き続き、夜間開館時間にコンサートなどの催しも行いました。

##### i) 展覧会連携

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
田村能里子展	4月1日（土） ～5月14日（日）	会期中限定 田村能里子特別ランチメニュー	アート倶楽部カルチュエ・ラタン	-

##### ii) 古川美術館 財団設立30周年記念 檜舞台「緑風の宴」

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
田村能里子展	5月10日（水） 5月11日（木）	薫風流 家元継承記念「薫風煎茶会（玉露席）」	加藤景友氏 （煎茶道薫風流六世家元）	82名 90名
田村能里子展	5月12日（金）	季の嵐—美神の舞と篠笛の調べ	内藤昌子氏（ダンサー） 友永綾美氏（篠笛） 熊田靖子氏（ナレーター）	49名
田村能里子展	5月13日（土）	美食晩餐会—中国琵琶の調べと共に	ゾン・ティンティン （中国琵琶奏者） アート倶楽部カルチュエ・ラタン（フレンチ）	33名
田村能里子展	5月14日（日）	美食晩餐会—中国琵琶の調べと共に	ゾン・ティンティン （中国琵琶奏者） 沙羅餐（そば懐石）	25名
緑風の宴	5月18日（木）	魅惑のトランペット	西崎佳代子氏	59名
緑風の宴	5月20日（土） 5月21日（日）	和んぱく会 in 爲三郎記念館	谷口剛久氏（茶道表千家古今庵） 小川珊鶴氏（花道家） 西川まさ子氏（日本舞踊・西川流家元補佐） 福原寛氏（福原流笛方） 谷本洋氏（陶芸家伊賀焼）	93名 89名
緑風の宴	5月24日（水）	新緑の古川茶会	当館職員 猿投温泉ホテル金泉閣（食事）	89名

山本眞輔展 山本澄江展	5月27日(土) 5月28日(日)	庭園檜舞台 緑風茶会	当館職員	76名 41名
山本眞輔展 山本澄江展	5月31日(水)	チェロと箏の夕べ	天野武子氏(チェリスト) 別所知佳氏(箏・三絃演奏家)	67名
山本眞輔展 山本澄江展	6月2日(金)	むすめ歌舞伎～色はいずれあやめ杜若	奥山景布子氏(小説家) 柴川菜月氏(名古屋むすめ歌舞伎)	57名
山本眞輔展 山本澄江展	6月3日(土)	和楽の心「狂言」	野村又三郎氏(狂言和泉流野村派十四世)	79名
山本眞輔展 山本澄江展	6月4日(日)	笛の世界 山車からくりとの競演	藤田六郎兵衛氏(能楽) 笛方藤田流十一世宗家 九代玉屋庄兵衛 (からくり人形師)	63名
			合計	14件 992名

### iii) 茶席

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
山本眞輔展 山本澄江展	6月30日(金)	夏越茶会	当館職員	56名
逸品セレクション 前期	9月9日(土)	重陽茶会	当館職員	97名
逸品セレクション 後期	10月4日(水)	観月茶会	当館職員	58名
藤森兼明展	10月28日(土)	ガラス茶会～パー	当館職員	40名
内田邦太郎展	11月30日(木)	ト・ド・ペール	当館職員	44名
寿ぎの四季展	1月2日(火) 1月3日(水)	新春の呈茶席	当館職員	72名 68名
寿ぎの四季展	1月14日(日)	爲三郎誕生日茶会	当館職員	94名
-	3月2日(金)	雛祭茶会	当館職員	94名

## iv) 美術ツアー

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
田村能里子展	4月17日(月) 4月19日(水)	田村能里子と巡る京 都・壁画の旅	田村能里子氏	41名 41名
山本眞輔展 山本澄江展	6月23日(金)	山本眞輔先生と巡る 一色・パブリック彫 刻の旅	山本眞輔氏	41名
藤森兼明展 内田邦太郎展	12月1日(金)	内田邦太郎先生と巡 るガラス作品の旅	内田邦太郎氏	30名

## v) 内覧会

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
山本眞輔展 山本澄江展	5月26日(金)	展覧会の出品作家、 関係者等による内覧 会を開催	—	134名
藤森兼明展 内田邦太郎展	10月20日(金)	展覧会の出品作家、 関係者等による内覧 会を開催	—	97名

## vi) その他の催し

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
通年	—	和装の方入館料半額 8名様以上の団体 入館料200円引き	—	—
通年	—	毎月18日 65歳 以上の方 入館料 200円引き	—	—
通年	毎週土曜日	小中学生無料	—	—
田村能里子展	4月18日(火)	65歳以上の方入館 800円	—	6名
山本眞輔展 山本澄江展	6月18日(日)	65歳以上の方入館 800円	—	2名
逸品セレクション	8月5日(土) ～8月31日(木)	夏休み期間、小学生 入館料無料	—	39名
逸品セレクション	8月5日(土)～ 10月9日(月・祝)	@LINE登録で招 待券プレゼント	—	24名
逸品セレクション	8月5日(土)～ 9月10日(日)	前期・後期入館券セ ット販売	—	74セット

逸品セレクション	8月18日(金)	65歳以上の方入館 800円	-	4名
逸品セレクション	9月16日(土) ～9月24日(日)	ブシコー派の画家の 時禱書 ページ替え 「キリストの誕生」	-	-
逸品セレクション	9月26日(火) ～10月1日(日)	ブシコー派の画家の 時禱書 ページ替え 「羊飼いのお告げ」	-	-
逸品セレクション	10月3日(土) ～10月9日(月・祝)	ブシコー派の画家の 時禱書 ページ替え 「祈りを捧げるダビデ」	-	-
逸品セレクション	9月18日(月・祝)	敬老の日65歳以上 無料	-	620名
藤森兼明展 内田邦太郎展	11月18日(土)	65歳以上の方入館 800円	-	3名
寿ぎの四季展	1月2日(火)～ 2月12日(月・祝)	干支生まれの方入館 料無料	-	125名
寿ぎの四季展	1月2日(火)～ 2月12日(月・祝)	@LINE登録で招 待券プレゼント	-	23名
寿ぎの四季展	1月7日(日) 8日(月・祝)	新成人無料	-	2名
寿ぎの四季展	1月7日(日) 8日(月・祝)	美術館で思い出を～ 成人式～家族記念日	-	10名 7名
寿ぎの四季展	1月18日(日)	65歳以上の方入館 800円	-	11名
黒野清宇展	3月18日(日)	65歳以上の方入館 800円	-	16名

#### IV. パスポート会員

平成14年から募集をはじめたパスポート会員は、3月31日現在896名在籍しております。会員の皆様へは展覧会毎に美術館便りを送付しています。パスポート会員入会キャンペーン、会員資格がなくなった方へのおかえりなさい再入会キャンペーン、誕生月の会員の方へオリジナル便箋セットプレゼント、入会10年目の会員の方(対象42名)へありがとうキャンペーンでオリジナル一筆箋プレゼントなどを実施しました。

また、パスポート会員限定企画を実施いたしました。

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
田村能里子展	4月28日(金)	パスポート会員限定 見学会「満喫 桑山 美術館」見学・ミニ 講座・茶席	—	26名
逸品セレクション	9月5日(火)～ 9月24日(日)	財団設立30周年記念 「入会キャンペーン」	—	150名
逸品セレクション	9月8日(金)	パスポート会員限定 講座「探訪 中世フ ランス美術」	小林久見子氏	27名
藤森兼明展 内田邦太郎展	12月1日(金)	パスポート会員限定 美術バスツアー「内 田邦太郎先生と巡る ガラス作品の旅」	内田邦太郎氏 当館職員	30名

#### V. 賛助会員

平成23年8月1日、公益財団法人への認定にもとづき、これまで取り組んできた公益活動をさらに充実発展させていくため自助努力するとともに、皆様から幅広くご寄付を賜り運営基盤の確立を図るため、新たに募集をさせていただくこととなりました。平成29年度は、3月31日現在、法人賛助会員社14社・20口、個人賛助会員30名・125口の方のご賛同をいただき、賛助会員の芳名板にてご案内いたしております。

## VI. 提携施設等

より多くの方々に美術館へお越しいただくため、提携施設の拡充に努めました。

### 新規提携施設

提携先	提携内容
Japan Convenience Pass (JTBサービス利用の外国人旅行者対象) Web媒体	入館料金の優待(200円割引)
アート倶楽部カルチェ・ラタン 絵画教室会員と飲食ご利用のお客様	入館料金の優待(200円割引)

また、名古屋市内の美術館と共同で、来館者と施設の知名度、美術館の相互PRのため、以下の催しを行いました。

名称	開催日程	テーマ・内容等	配布場所	配布枚数
名古屋お茶会スタン プラリー	4月1日(土) ～6月21日(水) (平成29年3月1 日(水)より開催)	名古屋市内でお抹茶 を飲む11施設を 巡る	古川美術館、徳川園、 揚輝荘、白鳥庭園、 富部神社、文化のみ ち撞木館、東山荘 昭和美術館、 鶴々亭(鶴舞公園) 八事興正寺、桑山美 術館、昭和美術館	—
名古屋お茶会スタン プラリー	10月1日(日) ～平成30年1月 31日(水)	名古屋市内でお抹茶 を飲む11施設を 巡る	古川美術館、徳川園、 揚輝荘、白鳥庭園、 富部神社、文化のみ ち撞木館、東山荘 昭和美術館、 鶴々亭(鶴舞公園) 八事興正寺、桑山美 術館、昭和美術館	—

その他、展覧会毎に多くの団体鑑賞グループを受け入れ、当館学芸員による作品解説や美術館の紹介などを行いました。

(2) 収益事業について

事業番号 収 1  
 事業の内容 美術館収蔵品のカタログ等を販売する事業  
 定款上の根拠 第4条第3項第2号

事業の概要

古川美術館と爲三郎記念館のミュージアムショップにおいて、展覧会出品作家のミュージアムグッズの販売やオリジナル商品の販売など、展示内容や季節に合わせ美術館の特性をいかしたグッズ販売を行いました。古川美術館では、展覧会に沿った書籍の販売など、また、爲三郎記念館では絵葉書やクリアファイルなど、展示作品に合わせて関連グッズなど幅広く展開しました。その他、ホームページでの商品販売を強化するようホームページの見直しを行い、販売強化に努めました。

新規オリジナルミュージアムグッズ

開催展覧会	形状	作者名	作品名	販売価格
田村能里子展	ポストカードブック (ハガキサイズ)	田村能里子	展覧会出品作品より デッサン画12項	500円
山本眞輔展 山本澄江展	図録	山本眞輔	-	1000円
山本眞輔展 山本澄江展	一筆箋	山本眞輔	展覧会出品作品より	400円
山本眞輔展 山本澄江展	一筆箋	山本澄江	MY LANDSCAPE 「祈りの道」より 「愛しき花」(部分) 「愛しきものたち」 「秋を待つ」	400円
山本眞輔展 山本澄江展	ポストカード	山本眞輔 山本澄江	展覧会出品作品より	80円
逸品セレクション	ポストカード	上村松園 市野龍起 嶋谷自然	上村松園 「月下踊の図」 市野龍起 「氾」 嶋谷自然 「夕焼け」 「志摩」 「土用」 鵜飼幸雄「白い道」 朝見香城「名古屋名所 図会原画12ヶ月」	80円 800円(名古屋名 所絵図)

逸品セレクション	ポストカードブック	ブシコー派の画家の 時祷書	ブシコー派の画家の 時祷書扉絵12点	600円
藤森兼明展 内田邦太郎展	レターセット	ブシコー派の画家の 時祷書	ブシコー派の画家の 時祷書	800円
藤森兼明展 内田邦太郎展	ポストカード	藤森兼明 内田邦太郎	藤森兼明 「アドレーション・サ ンタ・アポリナーレ」 「アドレーション・ サンタカタリーナ」 「イスタンブール青 のオマージュ」 「ビザンチンの光」 「女の季」 「聖者のノクターン」 「装う」 内田邦太郎 「ループ花卉根付」 「ホタルブクロ」	80円
藤森兼明展 内田邦太郎展	クリアファイル	藤森兼明 内田邦太郎	藤森兼明 「アドレーション・サ ンタ・アポリナーレ」 内田邦太郎 「ループ花卉根付」	250円
藤森兼明展 内田邦太郎展	卓上絵葉書カレンダ ー2018	收藏品14点	11月 藤森兼明 「素描」 12月 「ブシコー 派の時・書」のうち 「羊飼いのお告げ」 1月 横山大観 「霊峰不二」 2月 後藤順一 「冬の華」 3月 伊藤小坡 「観桜美人之 図」 4月 堂本印象 「寧楽」 5月 東山魁夷 「若葉の溪」	500円

			6月 ジュディ・オング 「華堂初夏」 7月 川合玉堂 「驟雨」 8月 堅山南風 「延嘉果」 9月 上村松篁 「野月」 10月 川島睦郎 「秋日」 11月 奥田元宋 「秋耀」 12月 田村能里子 「沙羅漢」	
寿ぎの四季展	一筆箋（桐箱入り）	-	2種類	800円
寿ぎの四季展	クリアファイル	横山大観	「霊峰不二」	300円
黒野清宇展	クリアファイル	黒野清宇	「しろがあねも」	500円
黒野清宇展	ポストカード	黒野清宇	「しろがあねも」 「あり迦とう」 「いちめんのなののはな」	100円
黒野清宇展	大判ポストカード	黒野清宇	「燃えよ！ドラゴンズ」	120円（大判）

事業番号 収 2  
 事業の内容 爲三郎記念館における呈茶事業  
 定款上の根拠 第4条第3項第2号

**事業の概要**

展示内容や季節に合わせた呈茶メニューの提供や、茶会などを開催しました。取扱菓子では、洋菓子ラングドシャを使用した「W a b i ・ S a b i ・ M i y a b i」、マロングラッセ、自家焙煎ナッツを使用した「アンナ」など定番洋菓子の提供、お中元商品として夕張メロンの果汁をふんだんに使用した「夕張メロンゼリー」、お年賀商品として梅屋製数量限定「金の羊羹」の提供の他、新規商品として世界で1番美味しいと称されているドライフルーツ「7Dマンゴー」「7Dパイナップル」を販売しました。また数寄屋カフェオリジナル菓子では、人気商品の黒糖餡を使用したオリジナル和菓子「夢寿夢寿6粒入り」に新たに「夢寿夢寿4粒入り」の開発や、「夢寿夢寿」に続く商品として西尾抹茶のチョコサンドクッキー「座・寿芸夢」を開発し、新商品として提供するなどオリジナル商品の販売にも力を入れました。また展覧会限定商品として、作家デザインのパッケージを採用した商品の提供や、七夕期間6月30日（金）～7月7日（金）「呈茶回数券キャンペーン」を実施し割引価格にて販売し多くのお客様にお求めいただきました。なお、呈茶イベントや限定販売商品、新商品の内容は以下の通りです。

呈茶イベント

開催展覧会	日程	テーマ・内容等	講師・出演者等	参加人数
田村能里子展	4月1日（土） ～5月14日（日）	端午の節句限定和菓子「ちまき」 季節限定メニュー「桜ソーダー」	-	-
山本眞輔展 山本澄江展	5月27日（土） ～7月23日（日）	季節限定メニュー「夕張メロンゼリー」 「レモンソーダー」	-	-
山本眞輔展 山本澄江展	6月30日（金） ～7月7日（金）	「呈茶回数券キャンペーン」114冊	-	-
山本眞輔展 山本澄江展	6月20日（火） ～7月23日（日）	展覧会限定商品 山本澄江デザイン「かりんとう3種箱入」 オリエンタルレトルトカレー「もとぶ牛」	-	-
山本眞輔展 山本澄江展	6月30日（金）	「夏越茶会」 （知足庵にて開催）	当館職員	57名
逸品セレクション 前期・後期	8月5日（土） ～10月9日（月・祝）	季節限定メニュー「夕張メロンゼリー」 「レモンソーダー」	-	-
逸品セレクション 前期	9月9日（土）	「重陽茶会」 （瓢の間にて開催）	当館職員	97名

藤森兼明展 内田邦太郎展	10月21日(土) ～12月17日(日)	季節限定メニュー 「ぜんざい」 ※11月より	-	-
藤森兼明展 内田邦太郎展	10月28日(土) 11月30日(木)	「ガラス茶会」 内田邦太郎氏の茶道具を使用した茶会 (知足庵にて開催)	当館職員	84名
寿ぎの四季展	1月2日(火) ～2月12日(日)	季節限定メニュー 「ぜんざい」 「葛湯」	-	-
寿ぎの四季展	1月2日(火) ～2月12日(日)	季節数量限定菓子 「大黒屋」の落雁詰め合わせ20箱限定	-	-
寿ぎの四季展	1月2日(火)、 1月3日(水)	「新春茶席」 (瓢の間にて開催)	当館職員	140名
寿ぎの四季展	1月14日(日)	「為三郎誕生日茶会」 為三郎氏の誕生日を祝う茶会 (瓢の間にて開催)	当館職員	94名
-	2月28日(水)	ワークショップ 「茶道体験」 (瓢の間にて開催)	当館職員	41名
-	3月2日(金)	「雛祭茶会」(香煎・薄茶・弁当席)	当館職員	94名
黒野清宇-遺墨展	3月17日(土) ～3月31日(金)	季節限定メニュー 「桜ソーダー」 新商品 「座・寿芸夢」	-	-

**事業番号** 収 3  
**事業の内容** 不動産等賃貸業  
**定款上の根拠** 第 4 条第 3 項第 1 号  
**事業の概要**

古川美術館及び爲三郎記念館には付帯する駐車場施設が 5 か所ありますが、このうち 2 か所を地域の利便性向上と、公益目的事業を支える収益獲得のために、来館者以外の方にも利用可能な一般有料駐車場として駐車場運営会社へ賃貸しました。

## 【2. 処務の概要】

### I. 役員に関する事項

平成30年3月31日現在

役職	氏名	就任	現職	備考
評議員	青山 俊董	平成5年6月24日	愛知専門尼僧堂 堂長	
評議員	大原 康之	平成16年4月1日	株式会社榎屋 代表取締役会長	
評議員	栗山 康介	平成14年4月1日	名古屋第二赤十字病院 名誉院長	
評議員	剣持 一郎	昭和62年9月5日	元名古屋市教育長 元名古屋市美術館館長	
評議員	西川 輝男	平成17年4月1日	西川コミュニケーションズ株式会社 代表取締役会長	
評議員	野口 宏	平成20年4月1日	愛知医科大学 名誉教授	
評議員	古川 美子	平成14年11月15日	豊田温泉開発株式会社 監査役	
評議員	水野 茂生	平成18年3月8日	東山遊園株式会社 代表取締役社長	
評議員	盛田 淳夫	平成22年3月11日	敷島製パン株式会社 代表取締役社長	
評議員	山内 一生	平成3年12月9日	紙工芸家・公益社団法人日展 参与	

役職	氏名	就任	現職	備考
理事長	古川 爲之	平成5年6月24日	—	
理事	足立 守	平成22年3月11日	名古屋大学博物館 特任教授	
理事	大島 宏彦	平成9年3月1日	株式会社中日新聞社 最高顧問	
理事	鈴木 礼治	昭和62年9月5日	公益財団法人愛知県国際交流協会 顧問 元愛知県知事	
理事	立松 健	平成14年11月15日	元ヘラルド不動産株式会社 代表取締役社長	
理事	那須 國宏	平成19年3月8日	那須 岩崎法律事務所 弁護士	
理事	古川 善次郎	平成5年6月24日	株式会社平安 名誉顧問	
理事	古川 為茂	平成17年4月1日	スターキャット・ケーブルネットワーク 株式会社 常務取締役	
理事	吉田 大士	平成29年3月23日	表示灯株式会社 取締役会長	

役職	氏名	就任	現職	備考
監事	高岡 次郎	昭和62年9月5日	株式会社アタックス 最高顧問 公認会計士・税理士	
監事	南館 欣也	平成3年12月9日	南館 北川 伊藤法律事務所 弁護士	

## II. 職員に関する事項

平成30年3月31日現在

		氏名	就職年月日	担当業務
事務局	館長付（特別職） 庶務課統括課長 （兼務）	古川 愛	平成18年4月1日	事務局全般の業務 庶務課全般の業務管理
	館長付特別参与	山田 英治	平成17年3月1日	事務局全般の業務
	館長付（シニア アドバイザー）	原田 正孝	平成26年10月1日	事務局全般の業務
	事務局長	伊藤 洋介	平成17年1月1日	事務局全般の業務管理
	事務局 主任	河田 秀子	平成19年5月1日	事務局全般の業務
庶務課		蕨川 久仁子	平成17年8月1日	渉外支援業務 庶務全般の業務
		東良 知子	平成17年5月1日	呈茶業務 庶務全般の業務
		才藤 カレン	平成28年4月1日	ミュージアムグッズ業務 庶務全般の業務
		橋本 榮	平成14年4月1日	爲三郎記念館施設管理業務
学芸課	学芸員 主任	山内 綾子	平成17年3月1日	美術品の調査研究・普及渉外業務
	学芸員 主任	林 奈美恵	平成17年3月1日	美術品の調査研究・普及渉外業務
	学芸員 主任	早川 祥子	平成18年5月1日	美術品の調査研究・普及渉外業務
	学芸員 主任	小柳津 綾子	平成13年8月11日	美術品の調査研究・普及渉外業務
合計13名				

### Ⅲ. 役員会等に関する事項

#### i) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成29年6月22日	1. 平成28年度事業報告の件	可決
	2. 平成28年度収支決算の件	可決
平成30年3月22日	1. 平成30年度事業計画の件	可決
	2. 平成30年度収支予算の件	可決

#### ii) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成29年6月8日	1. 平成28年度事業報告の件	可決（書面決議）
	2. 平成28年度収支決算の件	可決（書面決議）
平成29年6月22日	1. 平成28年度事業報告の件	可決
	2. 平成28年度収支決算の件	可決
平成30年3月22日	1. 平成30年度事業計画の件	可決
	2. 平成30年度収支予算の件	可決

### Ⅳ. 契約に関する事項

該当なし

### Ⅴ. その他の重要事項

該当なし